イルダリの日記　第2巻

体は以前より回復した。私がネロスの大失敗の後も生きてこられたのは、ハートストーンのカだ。灰の中の骨が私を呼んでいるのが感じ取れる。こちらから彼らに呼び掛ける事もできる。ハートストーンのおかげで、私は骨と灰と魂とを結び付け、自分の命令に従うしもべを呼び出す事ができるのだ。

今夜から私が支配権を握る。この鉱山労働者たちも、宝探しの連中も、ネロスの手下だ。連中が私を見つめているのが分かる。あいつに言付けをして、私の一挙手一投足を伝えているに違いない。信じられるのは声だけだ。彼らは一度もうそをついた事がない。このバカどもがネロスのように私を裏切ろうとしている事も、彼らが教えてくれた。

私は彼らが全員眠っている間にアッシュスポーンを呼び出す。まず獣のようなリーダーから死んでもらおう。私には彼の胸の内にある欲望が見える。優しく気前の良い人物を精一杯演じているかも知れないが、私は彼の望みを、彼ら全員の望みを知っている。連中はハートストーンが欲しいのだ。

何人かは捕虜として残しておこう。実験の被験者となる者が必要だ。ハートストーンに可能な事はまだ他にもある。是非試してみたいアイディアが2、3あるのだ。

イルダリの日記 第**2**巻

FormId	dragonborn.esm:027E4E
Owning plugin	dragonborn.esm
Local FormId	027E4E
Editor ID	DLC2IldariJournalV2
Inventory image	(none)
Menu art	HighPolyJournal
Value (gold)	5
Type	Book or tome
Weight	1
Can be taken	Yes
Teaches	(none)
Inventory description	(none)
Keywords	VendorItemBook
Locations	2
Leveled lists	0
Scripts	0

© Bethesda Softworks LLC and the authors of the mods in the load order.
Exported and generated with SkyrimSourceExporter.